

<アリゾナ州立大学の研究発表（2018）>

研究課題：「NHA は、子どもの ADHD 症状を軽減することができるのか。」

研究手法：

- ・ ADHD と診断された、またはその疑いの強い、6 歳から 8 歳の子どもの対象。
- ・ NHA の 6 週間のオンラインコースを親に受けてもらう。
- ・ 全米 104 人を対象に検証。
- ・ 全ての参加者に 3 種類の調査に答えてもらう。

研究結果：

NHA を親が学ぶことにより、ADHD の特性である「子どもの多動性、不注意、衝動性」において、**顕著な症状の減少**が見られた。

論文：

○学術誌「現代臨床実験コミュニケーション」13 巻に掲載

Efficacy of the Nurtured Heart Approach to Reduce ADHD Behaviors in Children

– Velia Nuno, University of Arizona

○National Library of Medicine（アメリカの国のホームページ（医学臨床実験の様々なものをまとめて報告するサイト））に掲載

Testing the efficacy of the Nurtured Heart Approach® to reduce ADHD symptoms in children by training parents: Protocol for a randomized controlled trial

Velia Leybas Nuño , Betsy C Wertheim , Bridget S Murphy , Richard A Wahl , Denise J Roe

➔<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/30740550/>

○アリゾナ大のプレスリリース

UArizona HealthSciences の研究者である VeliaLeybasNuño を中心とした研究では、親が子育てに NHA を使用すると、子供の ADHD 行動が大幅に減少することがわかりました。

Shipherd Reed、Mel、Enid Zuckerman College of Public Health

2021 年 2 月 26 日

最近のアリゾナ大学健康科学主導の研究によると、子供の注意欠陥多動性障害の治療のための家族中心のアプローチである NHA は、不注意、多動性、衝動性などの行動を軽減するという肯定的な結果を示しました。

米国では、小児の ADHD の診断は、ここ数十年で劇的に増加しており、小児および青年の 6~7% に影響を及ぼしています。子供に影響を与える最も一般的な精神障害の 1 つである ADHD は、多くの場合、薬物療法、特に脳内のドーパミンとノルエピネフリンの調節を助ける覚醒剤で治療されます。

UArizonaMel と EnidZuckerman College of PublicHealth の助教授である

VeliaLeybasNuño は、ADHD 行動の治療に対する NurturedHeartApproach の有効性を評価した研究者チームを率いました。彼らの論文「**オンライン NHA コース：6~8 歳の子供における ADHD 行動を改善するためのランダム化研究**」は、最近、ジャーナル Ethical Human Psychology and Psychiatry に掲載されました。

「COVID-19 のパンデミックに照らして、両親と開業医は、家族の安全と健康を維持しながら、新しいアプローチを学ぶ方法を探しているかもしれません」と Nuño は言っています。

「オンラインの NHA は、直接的に子供に焦点を当てた治療アプローチではなく、親を訓練することによって改善を示しました。これは、家族全体に広がり、家族内の他の子供にも効果をもたらす可能性があります」と共著者の **BridgetMurphy**（公衆衛生学部**農村保健センター**の研究プログラム管理責任者）は付け加えました。



参加したすべての親には、6歳から8歳までの子供がいて、ADHDと診断された、あるいはその疑いがありました。両親はランダムに2つのグループに分けられました。1つのグループは毎週オンラインのNurturedHeart Approach トレーニングセッションを6週間受けましたが、もう1つのグループは受けませんでした。最初のグループがトレーニングを完了すると、2番目のグループはNurturedHeart Approach トレーニングを完了しました。このようにして、両方のグループがトレーニングに参加しましたが、時間は異なりませんでした。

結果は、不注意、多動性/衝動性、学習問題、エグゼクティブ機能、反抗/攻撃性、人間関係などのADHDタイプの行動を測定する確立されたツールであるConners 3-Parent ShortFormを使用した、子供のADHD行動に関する両親の報告に基づいています。

「不注意、多動性および衝動性は、親や教育者が、受診時、ADHD ではないかと思う主な理由として話す子供の行動です。私たちの研究は、親によって報告された ADHD 行動の有意な改善を発見しました」と Nuño は言いました。「不注意、多動性、衝動性の改善を期待していましたが、実行機能や学習の問題も改善しました。さらに、親の育児関連のストレスも軽減しました。」

もともと不注意で高得点を挙げた子供たちのうち、31%は、彼らの得点がもはや高とは見なされなくなった点まで有意な改善を示しました。また、元々多動性/衝動性のスコアが高かった子供の 11%は、スコアが高くないと見なされるまで大幅に改善しました。

Nurtured Heart Approach は、家族、教師、メンタルヘルスの専門家との 20 年間の経験に基づいて、ツーソンの家族療法士 ハワードグラッサーによって開発されました。ADHD の最も一般的に使用される治療法は投薬です。ただし、臨床上の推奨事項は行動療法または薬物療法です。このアプローチは、ADHD の行動を減らすだけでなく、親と子の関係を構築し、それが子供への自信と自尊心を促進することにも役立ちます。

Glaser は Children's Success Foundation を設立しました。この財団は、Nurtured Heart アプローチについて、多くの親、教師、介護者、メンタルヘルスの専門家を訓練してきました。Children's Success Foundation は、このアプローチの恩恵を受けた 1 つの家族が資金を約束し、個人やグループに寄付に見合うように呼びかけた後、この研究に部分的に資金を提供しました。その結果、圧倒的にポジティブな反応が得られました。

「私たちの研究は、親子関係を通じて行動を変えることに焦点を当てた、ADHD の傾向のある子供たちをサポートするものです。」と Nuño は言いました。「私たちは、より多くの親や年長の子供たちに調査を拡大したいと考えています。学校、問題行動医療機関、小児科医、かかりつけ医と協力して、これらの調査結果を共有したいと思います。」

他の共著者には、UArizona **CancerCenter** のアシスタント科学研究者である Betsy C. Wertheim が含まれます。 リチャード A.ウォール博士、UArizona College of Medicine – Tucson の小児科の教授。デニス・ J・ロー、公衆衛生学部の生物統計学教授。

この記事は、もともとアリゾナ大学健康科学のウェブサイトに掲載されていました：
<https://uahs.arizona.edu/news/parent-training-approach-shows-promise-decreasing-adhd-behaviors-children>。

➡ <https://uahs.arizona.edu/news/parent-training-approach-shows-promise-decreasing-adhd-behaviors-children>

<アメリカでの事例>

○50ある州のほとんどに、NHA 認定トレーナーがいる。

○CTI (NHA 認定トレーナー養成講座) の参加者は、教員が多い。

○全米の多くの公立学校と、いくつかのモンテッソーリスクールで使われている。

○学校の他、家庭、裁判所、児童福祉施設、青少年更生施設、メンタルへするクリニック、養子施設、会社などで使われている。

○日本では2015年に、一般社団法人 Sea Light Wellness Center 代表理事の山本麗子が初めて紹介。心理カウンセリング想月で初めて取り入れられた。

○アメリカニュージャージー州 (2015-2019年)

・12億円の週の予算をかけた、重度精神・行動障害・麻薬依存を抱えた青少年たちへのメンタルヘルスサービスを行う。このサービスの初期プログラム2つのうちの1つとして、NHA が導入された。

○アリゾナ州ツーソン

・子どもを対象とした早期支援プログラムに、1999年からNHAを導入。

導入前：情緒・発達に問題のある子ども達がいるクラス経営が、非常に大変。

導入後：3000人を対象とした調査結果で、発達・精神の問題により新たに診断を受ける、投薬治療を受ける子どもがいなくなる。子ども達は大きな成長を遂げる。

○アリゾナ州の青少年裁判所

・犯罪を犯した青少年とその家族を対象にNHAの研修を実施。

研修前：再犯率が32%

研修後：再犯率が18%に。再犯内容も、軽犯罪に留まった。

○ニュージャージー州の里親・養子施設ドレンクセンター

・職員と里親がNHAの研修を受ける。

導入前(2007年以前)：養子縁組のうち、20~25%が長続きしなかった。

導入後(2011年)：縁組がうまくいかないケースが0%になった。

「逆転のコミュニケーション法 NHA ころを育てるアプローチ」(2016) 山本麗子著、じゃこめてい出版から引用。

元のデータは、Children Success Foundation のサイトより。